

天然植物原料由来多機能洗浄剤 検査データ

抗菌・抗ウイルス性試験 [試験結果]

大阪府立大学院生命環境科学研究科獣医学専攻獣医感染症学教室データ

試験ウイルス	抑制率(%)		
	30秒後	5分後	30分後
ノロウイルス (代替ネコカリシウイルス)	99.00	>99.00	>99.00

※30秒以上で、99%以上の不活化することができた。

試験ウイルス	抑制率(%)		
	30秒後	5分後	30分後
インフルエンザウイルス (H1N1)	検出せず	検出せず	検出せず

※30秒で、完全に不活化することができた。(ウイルスカ価:検出せず)

試験ウイルス	抑制率(%)		
	30秒後	5分後	30分後
イヌバロウイルス	>99.00	>99.00	>99.00

※30秒以上で、99%以上の不活化することができた。

生菌種	抗菌性(滅菌率)	
	4時間後	8時間後
サルモネア	99.94%	99.94%
緑膿菌	99.97%	99.97%
リステリア	99.95%	99.95%
O-157	83.55%	93.25%
黄色ブドウ球菌	92.53%	98.85%

安全性データ

大阪府立大学院生命環境科学研究科獣医学専攻動物構造機能学分野実験動物学教室データ

試験名	実験対象	評価
急性毒性試験	マウス	問題なし
皮膚刺激性試験	モルモット	問題なし
眼刺激性試験	ウサギ	問題なし

※安全性・毒性試験に於いて、安全性に問題がないことが確認されました。

消臭性能試験 [試験結果]

大阪府立産業技術総合研究所データ
(酸性の異臭物質) H26 02-00471

(1)酢酸ガスに対する除去性能

経過時間	酢酸ガス濃度		減少率
	ブランク試験	活性化大豆脂肪酸	
2時間	50.0ppm	3.0ppm	94%
12時間	38.0ppm	0.5ppm	99%

(2)アンモニアガスに対する除去性能(アルカリ性の異臭物質) H26 02-00470

経過時間	アンモニアガス濃度		減少率
	ブランク試験	活性化大豆脂肪酸	
2時間	50.0ppm	21.0ppm	58%
12時間	40.0ppm	10.0ppm	75%

ATP+AMPふき取り検査 [試験結果]

※キッコーマン(株)が開発したルミテストを用いて行った検査結果です。(特許No.3409962)

ATP:アデニン三リン酸・AMP:アデニン二リン酸(ATPが変化した物質)
医療現場の汚れ(血液・体液・排泄物・微生物)の中にはATPとAMPが存在します。つまりATPとAMPは汚れの指標として最適なわけです。
測定単位はRULでRUL値が高いとATP量が多い(=汚れが多い)と判断されます。洗浄前と洗浄後のRUL値(ATPとAMPの量)を比較することで洗浄効果がわかります。洗浄後にATPとAMPが多くあれば洗いの古紙が多く、洗浄不良と判断出来るわけです。

動物病院内測定場所	管理基準値(RLU)	洗浄前数値(RLU)	洗浄後数値(RLU)
診察台	500	52851	112
手術台	500	1875	102
入院犬舎	※1500	415869	967
ドアノブ	200	7683	79
手術器具	※1000	6561	937
手指洗浄	1000	29433	853

※ATP+AMPふき取り検査は「食品衛生検査指針微生物編2004」(厚生労働省監修)に記載されています。

※当社設定値

活性化大豆不飽和脂肪酸 原液検査データ

洗浄力試験

日本化学繊維検査協会データ

試料	洗浄力※	
	評価点平均	判定
活性化大豆不飽和脂肪酸	+2.00	合格

* 評価基準 -2:明らかに劣る -1:やや劣る 0:ほとんど差がない
+1:ややまさる +2:明らかにまさる

* 一般の洗浄剤と比較して「+2:明らかにまさる」との最高評価

抗カビ試験 [試験結果] 試験方法:JIS Z 29112000(乾式方)

日本化学繊維検査協会データ

試料	カビ抵抗性※	
	2週間後	4週間後
活性化大豆不飽和脂肪酸	0	0

* 0:試料又は試験片の接種した部分に菌糸の発育が認められない。

* 4週間後でもカビ菌の発育は認められない。

肌栄養

栄養素	含有量(%)
大豆イソフラボン	2%
α-トコフェロール	2%
大豆レシチン	5%
植物ステロール	2%
リノール酸	58%
オレイン酸	18%

* 大豆アレルギーの原因、残留農薬、遺伝子組換えは全て大豆タンパクに含まれ、大豆脂肪酸は精製時に大豆タンパクを除去するため問題ありません。
(遺伝子組換え大豆は一切使用していません。)